



文京歩こう会・12月10日例会報告

2020年最後の例会となりました。本当に毎年毎年で申し訳ないのですが、「早いですねえ！」としか言えません。オリンピックイヤーのはずだった2020年ですが、新型コロナウイルスの蔓延により思いも寄らない一年となりました。2020のデコレーションメガネをかけてはしゃいでいた過去の自分に言ってやりたいです。「マスク確保せよ」。

そんなわけで2020ラスト例会は奇しくもこれまで歩いてきた江東区の最後のコースとなりました。

都営新宿線の東大島駅から亀戸駅まで、5kmほどを歩きました。天気予報では傘マークもありましたが、歩いている最中はほとんど降られることなく済みました。しかしながら風の冷たさは年の瀬を感じるような塩梅です。駅を出て大島小松川公園に入ります。季節外れ？かもしれませんが、真っ赤なモミジがところどころにあり、雨に濡れたからか、一層綺麗でした。公園内に架かる巨大な橋を渡りつつ、旧中川沿いを北上していきます。

途中、亀戸浅間神社で小休止。境内には「疫病退散」の幟が立てられていました。歴史に度々登場する疫病という言葉が現代で身近に感じるようになるうとは、なかなか思えませんでした。アマビエなんでものも登場した2020年でした。

川沿いの遊歩道には水鳥たち以外にも、スタンドアップパドルボードを楽しむ初老の紳士や、ボート部の練習の風景などなど、なかなか珍しい光景に出くわしました。SUPのおじさん、転んで水没なんかしたら寒くて大変そう…、とか、下りは良いけど上りも川をゆくのかしら？、さらには、ボートを漕ぐ人は行き先と逆を向いているから注意するためにみんなと逆向きに一人乗っているのかなりよね、などなど、つれづれなるままに思いました。

さらに進んで東武亀戸線を渡線、JR沿いの細い道を通って亀戸駅でゴールしました。お疲れ様でした！

来年からは品川区のコースを歩きます。一年間ありがとうございました。皆さま良いお年を！疫病退散！

